

授業科目名	専門演習 ・ a	科目コード	G2603P04
英文名	Major Seminar I a		

科目区分	観光専攻科目 - 総合
------	-------------

職名	講師	担当教員名	一井 崇
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	金曜日	時限	2限目
開講時期	3年前期	授業の方法	演習
必修・選択	専攻必修	単位数	2単位

授業の概要	前半はテーマ毎に学生の発表を行い、それについて討論する。後半は夏季休暇中に行う現地調査について計画し、調査内容・方法を詰める。ゼミ全体での目標を定め、役割分担を決める。		
-------	--	--	--

キーワード	観光地調査	文献解読		
-------	-------	------	--	--

到達目標	読む：各自のテーマに関する文献や資料を読むようになる。
	書く：レジュメ、資料、発表原稿の作成ができるようになる。
	話す：PPを使い、視覚的にアピールできるようなプレゼンができるようになる。

ディプロマポリシー	3.スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	観光に関する専門性の向上	専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	【ガイダンス】 15回の授業の進め方、評価方法について説明する。各自関心のあるテーマについてディスカッション	
	【予習】特になし	
	【復習】	
第2回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
第3回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
第4回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
第5回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
第6回	【学生討論 の振り返り】	
	【予習】自分自身の発表と他の学生の発表を比較し、次回の発表がより良い発表になるにはどのような工夫が必要か考える。	
	【復習】他の人の意見を参考に、自分の発表内容を再検証する。	
第7回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
第8回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
第9回	【学生の発表と討論】（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	

	【学生の発表と討論（発表学生のテーマ設定、次への展開、資料収集について説明、討論）】	
第10回	【予習】発表する学生は準備をする。	
	【復習】討論された内容を自分の発表に活かせるように工夫する。	
	【学生討論の振り返り】	
第11回	【予習】自分自身の発表と他の学生の発表を比較し、次回の発表がより良い発表になるにはどのような工夫が必要か考える。	
	【復習】他の人の意見を参考に、自分の発表内容を再検証する。	
	【学生発表のテーマに即した調査先の選定と情報収集】	
第12回	【予習】ウェブで調査場所の情報を収集してくる。	
	【復習】全員で同じ知識や認識を共有する。	
	【学生発表のテーマに即した調査先の選定と情報収集】	
第13回	【予習】ウェブで調査場所の情報を収集してくる。	
	【復習】全員で同じ知識や認識を共有する。	
	【学生発表のテーマに即した調査先の決定とスケジュールの調整、手配などの役割分担】	
第14回	【予習】ウェブで調査場所の情報を収集してくる	
	【復習】全員で調査全体について把握、理解しておく。	
	【調査内容の確認と関連文献の選定、情報収集】	
第15回	【予習】現地調査のイメージを各自が持つておく	
	【復習】現地調査で忘れ物や遅刻、調査のミスがないよう、調査の進め方や日程等を理解しておく	
第16回	【予習】	
	【復習】	

評価方法	<p>授業への参加度（30％）、ゼミでの発表内容（60％）、現地調査での貢献（10％）</p> <p>ディプロマポリシーとの関連においては、人間性：10％、社会性：10％、専門性：80％で評価する。 到達目標に関しては、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。</p>		
使用資料 <テキスト>	必要に応じて、プリント等を配布する	使用資料 <参考図書>	調査地域および調査計画の決定後に、その都度紹介する
授業外学修等	<p>疑問に思ったことや、興味関心をもったことは曖昧なままにせず、主体的に調べ解決する習慣を身につけましょう。</p>		
授業外質問方法	<p>授業終了後、またはオフィスアワーに対応します。オフィスアワー以外でも、事前にアポイントを取っていただければ時間調整します。</p>		
オフィス・アワー			